



ウェルビーイングと環境

開催趣旨

温室効果ガスの人為的な排出により、急速に進みつつある平均気温の上昇は、動植物の生存環境の基盤である気象環境に大きな変化を及ぼしています。産業革命前からの世界の平均気温上昇を2度未満に抑えることを目的とするパリ協定の温室効果ガスの排出量削減目標達成は困難に陥っています。温度上昇の特性や今後の見通しを理解することが必要です。

基調講演では地球科学の知見とそれに基づく対応の可能性を紹介いただき、パネルディスカッションでは、科学者、ユース、人道支援家、三児の子育て研究者の視点から多角的に本題に迫ります。



基調講演 近藤 豊

国立極地研究所 特任教授

地球温暖化と太陽放射制御

講演内容

地球温暖化による気象災害の増加、健康への悪影響、安定した気候・環境の維持に不可欠な地域への打撃などの危機が予測されている。これを回避するためのパリ協定の実施の現状は十分とは言えない。このような災害を防ぐため高度約20kmの大気中に微粒子(エアロゾル)を注入しその太陽光反射を利用して地球を冷却する方法が検討されている。この方法の必要性・利点、環境への影響、将来シナリオ、国際動向などについて紹介する。

プロフィール

1977年 東京大学理学博士/名古屋大学教授
2000年 東京大学教授
著書『雲の物理とエアロゾル』(東大出版会)

2024年10月20日(日)
10:30~16:00

会場

エッサム神田ホール1号館3階
大会議室301号

(千代田区神田鍛冶町3-2-2)

JR神田駅 東口 徒歩1分

東京メトロ銀座線神田駅 3番出口 正面

定員

70名-会場 100名-ZOOM 要申込

参加費

1000円 学生無料

基調講演&パネルディスカッション

10:30 開会

10:40 基調講演

12:10 昼食 休憩

13:10 パネルディスカッション

16:00 閉会

パネリストの紹介

2.0°Cの温度上昇は何を意味するか？

今野 美智子 お茶の水女子大学 名誉教授
東京支部



CO₂の増加が温暖化を引き起こすメカニズムを分かり易く説明します。地球温暖化を1.5°Cに抑えようとしているが、現在の状況では2.0°Cに達するかもしれない。それは何を意味するか。最終的には、食糧難へと。

海洋環境への提言

～ギリシャユースサミットとタイでの活動経験から～

藤巻 宇衣 津田塾大学 総合政策学部
総合政策学科3年



タイの“東南アジア漁業開発センター”でのインターンシップと今年4月、ギリシャで開催の“私たちの海洋若者リーダーシップ・サミット”に参加した。この経験をもとに海洋環境の保全に向けて提言する。



コメンテーター 木林 京子 小児科専門医 医学博士 岡山支部

親子そだてすこやかなのわ発起人
岡山大学医学歯学総合研究科
病態制御科学専攻小児医科学分野 博士課程修了

気候変動による自然災害の被災者支援 ～持続可能な復興に向けて～

木山 啓子 認定NPO法人ジェン
理事・事務局長



気候変動に最も貢献していない国の一つとされるパキスタンは、気候変動によるとされる2022年の洪水で甚大な被害を被った。多発する災害からの復興の営みをどのように支えているかを報告する。

気候正義

女性だから考えるべきこと・できること

一原 雅子 総合地球環境学研究所
京都支部 京都気候変動適応センター 特別研究員



女性は今日の格差社会で男性よりも深刻な気候変動影響を受けている。また子を産む女性にとって将来世代が暮らす気候状況も重要な関心事である。本報告では女性としての視座から気候正義に関する議論を紹介する。

申込方法 先着順

▶Google申込みフォーム QR▶

<https://forms.gle/3KZHvnuj5URMuWP97>

▶Email : jauw@jauw.org

▶Fax : 03-3358-2889

ZOOM参加の方には、前日までにURLをお知らせします。



振込先

一般社団法人 大学女性協会

ゆうちょ銀行 00110-7-323298

(他銀行から 当座 〇一九店 323298)

会場へのアクセス



大学女性協会HP

主催・お問い合わせ 一般社団法人 大学女性協会

〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地6 パトリシア信濃町テラス101

TEL:03-3358-2882 当日緊急連絡用 070-2319-6742

